

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズウィルplus		公表日	令和 7年 1月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	5	公園、ホールなどの施設を借りて活動を実施	過密して過ごしていることがある 活動内容によって、スペースを分ける必要があるが、十分でない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	個別対応が必要な場面などに対処していけるよう、支援内容を考えている	個別への対応も、一人では難しい場面には他の小集団への対応への配置の改善をしていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	スケジュールの提示、時間ごとに仕切るなどを行っている	特性に応じ、区切るなどを行っているが十分ではない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	3	教具の管理場所が乱雑になるので、カゴに入れたり、同じ場所へ戻せるようにしている	整理・掃除が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	聴覚など過敏に感じる利用者に対して、個室となる区切りができるスペースを提供している	数は足りていない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	その日の問題点は、業務終了後に話し合うなどを実施 次回への改善点などを検討している	一斉ではなく、振り返り、ミーティングを細かく行っていくようにする
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		評価後より、改善点の実施期間を設けていくようにする
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ミーティングを実施し、改善点などについて話し合う場面を設けている	勤務体制の関係から参加が難しい職員に対して、別途時間を作るなどをして実施していきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		現在実施できていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	療育コンサル、その都度必要に応じて研修を受講するなどしている	受講できていない職員への、情報共有
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	5	運動・感覚など、遊びの中から発達を促していけるプログラムとなるよう作成、公表していく準備をしている	作成中（R6.12.26現在）
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	アセスメントや日々の活動報告時にも、課題点や生活で気になっていることなどを検討し、サービス計画へ取り入れるようにしている	情報整理が行いやすく、かつ活用方法を工夫しながら実施できるようにしていきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日々の話し合いや、ミーティング、メールでのやり取りを行っている	家族の意向と事業所内での課題点の相違について、どのように考慮していくか、工夫・改善する必要がある
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	情報共有・振り返りを行いながら支援を実施するようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	アセスメント、ケース記録などを活用し、好ましい行動となっているか？など判断できるようにしている	日々のやり取りの中でのことや、送迎時の会話などから・・・といった細かい情報の共有・利用方法について検討していく必要がある
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	具体的な支援内容を、個々に応じて設定している	設定した内容が、利用者・家族の意向から必要な項目となっているのか、検証する必要がある対象もいる
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	スタッフ間で検討、立案を行っている	情報や内容の共有は行えるが、実際の療育場面での瞬時の対応など共通認識であっても難しい場面がある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節や人数、何を必要としているか？等に応じてプログラムを検討している	それぞれに合った療育内容となるように考えていく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズウィルplus			公表日	令和 7年 1月 10日	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個々の特性、状況に応じて日々活動内容について検討を行い、実施・改善をするようにしている	集団での設定であっても、全てにマッチするということがないので、その中でも個々に対応していけるよう配慮を検討する	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	曜日ごと、カレンダーでの予定に対して実施内容を確認しながら準備している	変更等があった場合、分担などの調整が難しい時がある	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日の問題点は、業務終了後に話し合うなどを実施 次回への改善点などを検討している	問題点などを話し合い、次回改善する場を設けているが、改善案が有効かどうかという点の検証が不十分となっている	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の療育内容の記録、保護者への報告は毎日実施している	問題点などを話し合い、次回改善する場を設けているが、改善案が有効かどうかという点の検証が不十分となっている	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なアセスメントを記載してもらい現状の把握を行っている		
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	本人、家族支援など様々な体験活動を通じて円滑に行えるように取り組んでいる	地域支援等、今後検討していく	
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	スケジュールやカレンダーから活動内容を提示。その中で選択をする、順序を決めるなどは利用者本人の自己決定とする場合がある	特性ではない部分での拒否や、決定しないという選択をとる場合など、想定外の事も多く発生している	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	計画立案から、療育実施者が出席、参画	全ての場面を実際に見えているわけではないので、(スタッフ間の情報共有などから)具体的なところが曖昧になる点	
	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校との連携をとりながら、療育内容を検討している	他の機関とのつながりがない	
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0	事前に利用予定表に記載をお願いし、変更はその都度連絡をもらうように体制を整えている	保護者からの送迎時間、学校からの下校予定を繰り返し確認を行っているが、急な変更や情報共有がなかった場面などがトラブルとなっている	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		現在、対象者なし	
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		現在、対象者なし	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5			
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		機会はなく、保護者からも要望はないが今後は要望の声に応じて対応していくようにする	
	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	府中町の協議会へ参加	子ども部会設立予定	
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	情報提供はお茶会や、カレンダーなどの紙面で提供している	ペアレントトレーニングや研修という形での実施ができていないので、今後機会を作っていく予定である	
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		不十分と感じている保護者もいる様子なので、変更があった場合などその都度説明を行っていくようにする		
放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談、アセスメント資料としてプリントへの記載をお願いしている	面談、アセスメント資料としてプリントへの記載をお願いしている		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズウィルplus			公表日	令和 7年 1月 10日	
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		説明が不十分ということもあり、計画を提供する際の説明を徹底するようにする
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	通常時以外での別途時間を設けている	学校生活などでは課題点について、早めに対処していけるように家族に向けても発信していくようにする
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	不定期に開催	定期的に保護者間のつながりが持てる機会を提供していくようにする
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった際、その都度対応していくようにしている	家族からは対応が不十分であると感じている場面もあるようなので、どこまで対処していくべきかチームとして検討する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月のカレンダーで活動予定、活動概要について発信している	紙の情報であると、活動内容などが全てみられるわけではないので、もう少し情報量多く提供できる媒体の検討をする
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	持ち出し等注意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	吃音や、聴覚、表出などそれぞれの気になっている部分など、スタッフ間で情報共有し、同じ対処となるよう留意している	再度確認をしなければならない場合など、繰り返し質問をする際の声かけなど、気をつけていきたい
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		地域のお祭りに参加 近隣の施設に挨拶(病院、幼稚園等)
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアル等策定済み
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に訓練の実施と見直しを行っている	実際に発動したと想定して、不十分なところが不確定である
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		服薬の対象になっている子に対して確認を実施している 現在、対象者なし
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者に確認を取りながら対応している	聴き取りやテストから、アレルギーに対しての情報共有を行っているが、一つ一つのものへの判別が難しい場面がある
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画作成済 研修、訓練等実施	
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	緊急時等のマニュアルを作成、家族に配布周知をはかる	マニュアルを掲示しているが、保護者の目の届くよう公表する媒体を検討していく
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事業所内で情報を共有し、再発防止に取り組む	研修・ケース会議等を行い、今後の取組に繋げていくようにする
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	事業所内での研修を実施	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束があり得る場合を想定して、サービス計画に記載している	突発的な身体拘束となる場合もあるかと想定するが、現状拘束をする場面はない	